

平成24年10月23日  
東北地方整備局  
湯沢河川国道事務所

## 「成瀬ダムに係るイヌワシ・クマタカ調査委員会」 の開催について

「成瀬ダムに係るイヌワシ・クマタカ調査委員会」（第20回）を秋田県大仙市で開催しますのでお知らせいたします。

なお委員会は「種への影響」等を考慮し、非公開とさせていただきます。審議内容については資料にとりまとめ、委員会終了後、資料を配付するとともにその内容を説明します。

### 1. 調査委員会開催日時

平成24年10月25日（木） 14:30～17:00（予定）

なお、委員会終了後の内容説明は17:30より行う予定。

### 2. 委員会開催場所

大曲エンパイヤホテル 2階 桔梗の間

大仙市大曲白金町8-17 TEL 0187-63-1131

なお、委員会終了後の内容説明場所は2階「紫雲の間」です。

### 3. 議題

- (1) 平成24年生活サイクルにおけるイヌワシ・クマタカの調査結果報告
- (2) 今後の保護方策について
- (3) 今後の調査計画について
- (4) その他

### 4. 記者発表先

秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社（湯沢支局、大曲支局）

問合せ先：国土交通省湯沢河川国道事務所 TEL 0183-73-3174

事業対策官 佐々木健一（内線 306）

開発調査課長 高橋 秀（内線 361）

# 成瀬ダムに係るイヌワシ・クマタカ調査委員会 規 約

## 第1条 目的

成瀬ダムの建設予定周辺は、環境に恵まれた地域であり、また、イヌワシやクマタカ等の稀少猛禽類の生息が確認されていることから、事業進捗においては、自然環境との調和や生態系に十分配慮することが求められている。

本委員会は、学識経験者やワシタカ類の専門家により構成し、特に稀少猛禽類の調査体制の充実や、今後の保護方策の検討を目的とするものである。

## 第2条 検討内容

- (1) 調査方針・内容・手法等の検討、現地調査
- (2) とりまとめ内容の検討、今後の調査についての検討
- (3) 今後の保護方策の検討

## 第3条 組織

委員会は、下記の委員により構成する。

- ◎小笠原 暁 (秋田大学名誉教授)
  - 関 山 房 兵 (猛禽類生態研究所所長)
  - 千 葉 和 彦 (秋田駒ヶ岳イヌワシ観察グループ代表)
  - 西 出 隆 (日本野鳥の会秋田県副支部長)
  - 由 井 正 敏 (岩手県立大学名誉教授)
- (50音順、◎は委員長)

## 第4条 運営

- (1) 委員会には、委員長を置く。
- (2) 委員長は、委員会を代表し会務を総括する。
- (3) 委員会の運営に関し定めのない事項については、委員長の指示によるものとする。
- (4) 委員会は、委員長が必要と認めるとき招集することができる。

## 第5条 事務局

委員会の事務局を国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所に置く。

## 第6条 附則

- ・本規則は平成10年1月30日から施行する。
- ・本規約の改正規定は、平成19年12月10日から施行する。